

工事は進む 東小学校

ご存知ですか

検察審査委員会法が施行されてから九年の才月が経過しました。本法施行以来各市町村選挙管理委員会が選んだ一般有権者の中から検察審査委員ならびに補充員を選任された人の数は県下で一、五四人に達し、全国では約七七、〇〇〇人余りに上り、これを人口当りにすれば約一、八〇〇人ないし、一、一〇〇人につき一人であり、放火と云うような兎（きよう）悪

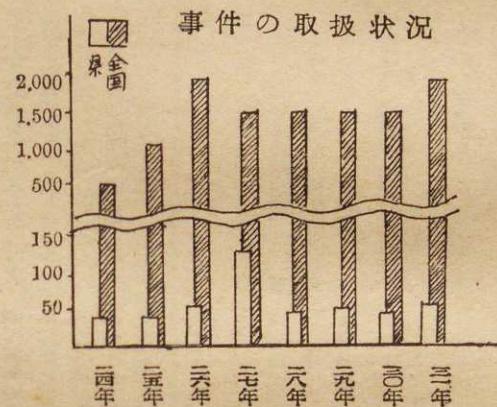
また有権者数では約一、〇〇〇人につき一人の割合で検察審査委員または補充員が選ばれていることになります。これ等数多くの検察審査委員が取り調べた検察官の不起訴事件は全国で一三、〇〇〇件、県下では三〇件に上り、別に目下二〇件の取り調べを続行中です。事件の種類は、強盗、殺人

発行所 焼津市役所
編集兼 山口謙三
発行人
印刷所 共栄限印会社
定価 2円

またす

下では、七件、全国では、二
件に達しています。最近兇悪事件
の被疑者が捜査官に対して、犯罪
の自白を公判庭にのぞんでひるが
えすような事が多くなつており、
中には他の証拠が薄弱なためもあ
つて、はなはだしいのは無罪の言

遂次国民の期待に応えつゝあると
みられますし、また他面本制度の
民主的理念が、よく時代の要望に
合つているものとみて誇張では
ないと考えます。



事件を始め贈収賄、その他瀆(とく)職事件、名譽、人権の侵犯事件件、等過失事件も含め、およそ犯罪と名のつく不起訴事件は総べて含まれております。

また検察審査委員会は検察庁の取り扱つ犯罪の取調べ、犯罪の処罰に関する事務、その他検察官が公益の代表者として行う事務等について民意に反する取扱いがあればその改善を勧告して事務の是正を要求することができます。このような事務につき改善の建議をしたものや勧告をした件数は県

| 年 | 1950 | 1951 | 1952 | 1953 | 1954 | 1955 |
|----|------|------|------|------|------|------|
| 件数 | 約40 | 約50 | 約55 | 約60 | 約65 | 約70 |

海外移住者を公募

戦後の海外派遣及び海外移住は、受け入れ国との交渉とか渡航資金等種々の障害のため、具体的には小規模の海外移民の送り出しのみであります。また、昨今の移民熱は急速に高まりつつあり、この国内状勢に対応して、本県海外移住者協会

審査委員会は「自白の事件の捜査はその裏付けを忘へりにしつゝ、特に取扱の慎重を期すると共に警察、検察の密接な連絡のもとに捜査に当るより」監督官に適切な指示

を与えられたい」旨を検事正に建議していますが、検察審査委員会の取扱い事件は前述のようによく件数的に少く、これは一般有権者の中から無作為的に選ばれた、全く素人の検察審査委員が挙げた成果であります。

したがつて検察審査制度の現況は
おゝむね所期の目的にそい、かつ

アイ国、フラン地区移住等、各種農業移民の公募が行われておりますから、ご相談のある方は市役所市民課にお出掛け下さい。

は高まりつつあり、この国内状勢に対応して、本県海外移住者協会は世界平和文化産業の発展と云う大きな目的をもつて誕生し、県民の福祉増進に寄与するため、海外

移住その他海外発展の推進力となるための活動を起しました。

は高まりり、あり、この国内状勢に対応して、本県海外移住者協会は世界平和文化産業の発展と云う大きな目的をもつて誕生し、県民の福祉増進に寄与するため、海外

海外移住者を公募

検察審査会制度が九年の困難な歩みを通じて、社会的にも制度的にもようやくその基礎が確立されきましたが、なお将来の発展のため一層の認識を深められるよう望むものであります。

しかしながら、まだ検察審査委員会の存在を知り、その制度の概要を知る人はごく少数です。

遂次国民の期待に応えつゝあると
おられますし、また他面本制度の
民主的理念が、よく時代の要望に
合つてゐるものとみては誇張では
ないと考えます。

8月 開岡サーキット 8月 10.11.12 主催 焼津市 24.25.26

農事メモ

水稻の必要とする

栄養成分について

水稻の体内に含まれる栄養成分は、窒素、磷酸加里、石灰、苦土、硫黄、鉄、マンガン、珪素、ソーダ及び塩素であり、そのうちソーダと塩素は稻の生育には必要でないようである。

右栄養成分について生育との関係を今月号に解説して御参考に致します。

一、窒素・窒素の第一の役目は葉肥といわれるよう葉を作る働きがある。根から吸われたアミノ酸（澱粉）と結びついてアミノ酸となり、アミノ酸から蛋白質が合成されて植物体が新しくつくられていくのである。第一の重大な役目は葉の一定面積当たりの炭素同化量が決まるので、出穂後の天候

が悪くて炭素同化作用が盛んでない場合には、玄米の充実が悪く収量が減する、又このような窒素過

量が少くなる、したがつて、玄米にたまる（糖）澱粉は、出穂後

の炭素同化作用で出来る糖により根の活力が早く衰退して幼穂形成期以後に根が腐りやすくなつて、危険時期は出穂前後である。

稻は出穂後に吸収される窒素は一度で吸収する量の一割位の量にすぎないのが普通であるので出穂直後組織の軟かい時期に過剰になると穗首イモチになる。

これと対応に生育の途中で窒素が欠乏すると葉面積が少くなり、单位葉面積当たりの炭素同化作用も衰えるので、澱粉の蓄積が少なくなる。

稻の一生の中で窒素の欠乏による減収を起しやすい時期は二つある

その時期は有効分ケツ期でこの時

期に欠乏すると、穗数が減少して

減収する。第一の時期は幼穂形成期と穗孕期の時期で、この時期に

欠乏すると一穂の枝梗数が減

一穂の枝梗数及穗数が減少して減

ンモニアと、結びつくべき炭素同化作用でできた糖が少ないので、アモニアから蛋白質になるまでの中間物質であるアミノ酸アミド

がたまつてしまふ、この状態になるとイモチ病に罹りやすくなる、また螟虫の被害も多くなる。又災害にも弱くなる。水稻の一生の中

で殊にこのような窒素過剰の状態を起しやすい危険時期は二つある

第一の時期は分ケツの最盛期である（七月下旬～八月上旬）この時期が前記の次第により葉イモチが出やすく、又倒伏の原因となり、

白質を合成するのに必要であり、

又加里は糖から澱粉を合成するの

にも必要である。加里が不足する

と炭素同化作用が減退し、逆に呼

吸作用が増大するので炭水化物の

生産が少なく、乾物の生産が少な

くなる倒伏に関係あるセン維系の

生産も少なくなる。加里は炭素同化作用を促進するので、本年のよ

うよ日照不足の時に肥効が大きい

加里は蛋白質の合成に必要である

から加里の吸収量と窒素の吸収量

の割合はほぼ同じであることが望

ましい。

加里が不足すると葉色は濃くなり

分ケツ数はあまり減少しないが草丈が低くなる、出穂はかえつて早くなり下葉から早く枯れ上がつて減少する。加里が少くなると蛋白質合成が阻げられるために、ちようど窒素を吸いすぎたと似た状態になり、イモチ病に罹りやすくな

る、又小粒核病と胡麻葉枯病に

も罹りやすくなり、稈が折れやす

く倒れる。

稻の一生の中で窒素の欠乏による減収を起しやすい時期は二つある

その時期は有効分ケツ期でこの時

期に欠乏すると、穗数が減少して

減収する。第一の時期は幼穂形成

期と穗孕期の時期で、この時期に

欠乏すると一穂の枝梗数が減

一穂の枝梗数及穗数が減少して減

少して減収する。

結局窒素は水稻の安全多収のため

施用すると、効果が大きい、加里

は窒素と違つて過剰に吸収しても

は窒素を多く

与えた時に加里を必要以上に多量

に施すと、イモチに罹りやすくな

る。加里は窒素過多の害を少くす

るという考え方もある。

詳細は農業改良普及員、農政技術員にお尋ね下さい。

肥料：加里はアミノ酸から蛋白質を合成するのに必要であり、

白質を合成するのに必要であり、

又加里は糖から澱粉を合成するの

にも必要である。加里が不足する

と炭素同化作用が減退し、逆に呼

吸作用が増大するので炭水化物の

生産が少なく、乾物の生産が少な

くなる倒伏に関係あるセン維系の

生産も少なくなる。加里は炭素同化作用を促進するので、本年のよ

うよ日照不足の時に肥効が大きい

加里は蛋白質の合成に必要である

から加里の吸収量と窒素の吸収量

の割合はほぼ同じであることが望

ましい。

加里が不足すると葉色は濃くなり

分ケツ数はあまり減少しないが草

丈が低くなる、出穂はかえつて早

くなり下葉から早く枯れ上がり

減少する。加里が少くなると蛋白質合成が阻げられるために、ちよう

ど窒素を吸いすぎたと似た状態

になり、イモチ病に罹りやすくな

る、又小粒核病と胡麻葉枯病に

も罹りやすくなり、稈が折れやす

く倒れる。

稻の一生の中で窒素の欠乏による減収を起しやすい時期は二つある

その時期は有効分ケツ期でこの時

期に欠乏すると、穗数が減少して

減収する。第一の時期は幼穂形成

期と穗孕期の時期で、この時期に

欠乏すると一穂の枝梗数が減

一穂の枝梗数及穗数が減少して減

少して減収する。

したがつて穗肥に加里を

施用すると、効果が大きい、加里

は窒素と違つて過剰に吸収しても

は窒素を多く

与えた時に加里を必要以上に多量

に施すと、イモチに罹りやすくな

る。加里は窒素過多の害を少くす

るという考え方である。

詳細は農業改良普及員、農政技術員にお尋ね下さい。

肥料：加里はアミノ酸から蛋白質を合成するのに必要であり、

白質を合成するのに必要であり、

又加里は糖から澱粉を合成するの

にも必要である。加里が不足する

と炭素同化作用が減退し、逆に呼

吸作用が増大するので炭水化物の

生産が少なく、乾物の生産が少な

くなる倒伏に関係あるセン維系の

生産も少なくなる。加里は炭素同化作用を促進するので、本年のよ

うよ日照不足の時に肥効が大きい

加里は蛋白質の合成に必要である

から加里の吸収量と窒素の吸収量

の割合はほぼ同じであることが望

ましい。

加里が不足すると葉色は濃くなり

分ケツ数はあまり減少しないが草

丈が低くなる、出穂はかえつて早

くなり下葉から早く枯れ上がり

減少する。加里が少くなると蛋白質合成が阻げられるために、ちよう

ど窒素を吸いすぎたと似た状態

になり、イモチ病に罹りやすくな

る、又小粒核病と胡麻葉枯病に

も罹りやすくなり、稈が折れやす

く倒れる。

稻の一生の中で窒素の欠乏による減収を起しやすい時期は二つある

その時期は有効分ケツ期でこの時

期に欠乏すると、穗数が減少して

減収する。第一の時期は幼穂形成

期と穗孕期の時期で、この時期に

欠乏すると一穂の枝梗数が減

一穂の枝梗数及穗数が減少して減

少して減収する。

したがつて穗肥に加里を

施用すると、効果が大きい、加里

は窒素と違つて過剰に吸収しても

は窒素を多く

与えた時に加里を必要以上に多量

に施すと、イモチに罹りやすくな

る。加里は窒素過多の害を少くす

るという考え方である。

詳細は農業改良普及員、農政技術員にお尋ね下さい。

肥料：加里はアミノ酸から蛋白質を合成するのに必要であり、

白質を合成するのに必要であり、

又加里は糖から澱粉を合成するの

にも必要である。加里が不足する

と炭素同化作用が減退し、逆に呼

吸作用が増大するので炭水化物の

生産が少なく、乾物の生産が少な

くなる倒伏に関係あるセン維系の

生産も少なくなる。加里は炭素同化作用を促進するので、本年のよ

うよ日照不足の時に肥効が大きい

加里は蛋白質の合成に必要である

から加里の吸収量と窒素の吸収量

の割合はほぼ同じであることが望

ましい。

加里が不足すると葉色は濃くなり

分ケツ数はあまり減少しないが草

丈が低くなる、出穂はかえつて早

くなり下葉から早く枯れ上がり

減少する。加里が少くなると蛋白質合成が阻げられるために、ちよう

ど窒素を吸いすぎたと似た状態

になり、イモチ病に罹りやすくな

る、又小粒核病と胡麻葉枯病に

も罹りやすくなり、稈が折れやす

く倒れる。

稻の一生の中で窒素の欠乏による減収を起しやすい時期は二つある

その時期は有効分ケツ期でこの時

期に欠乏すると、穗数が減少して

減収する。第一の時期は幼穂形成

期と穗孕期の時期で、この時期に

欠乏すると一穂の枝梗数が減

一穂の枝梗数及穗数が減少して減

少して減収する。

したがつて穗肥に加里を

施用すると、効果が大きい、加里

は窒素と違つて過剰に吸収しても

は窒素を多く

与えた時に加里を必要以上に多量

に施すと、イモチに罹りやすくな

る。加里は窒素過多の害を少くす

るという考え方である。

詳細は農業改良普及員、農政技術員にお尋ね下さい。

肥料：加里はアミノ酸から蛋白質を合成するのに必要であり、

白質を合成するのに必要であり、

又加里は糖から澱粉を合成するの

にも必要である。加里が不足する

と炭素同化作用が減退し、逆に呼

吸作用が増大するので炭水化物の

生産が少なく、乾物の生産が少な

くなる倒伏に関係あるセン維系の

生産も少なくなる。加里は炭素同化作用を促進するので、本年のよ

うよ日照不足の時に肥効が大きい

加里は蛋白質の合成に必要である

から加里の吸収量と窒素の吸収量

の割合はほぼ同じであることが望

ましい。

加里が不足すると葉色は濃くなり

分ケツ数はあまり減少しないが草

丈が低くなる、出穂はかえつて早

くなり下葉から早く枯れ上がり

減少する。加里が少くなると蛋白質合成が阻げられるために、ちよう

ど窒素を吸いすぎたと似た状態

になり、イモチ病に罹りやすくな

る、又小粒核病と胡麻葉枯病に

も罹りやすくなり、稈が折れやす

く倒れる。

稻の一生の中で窒素の欠乏による減収を起しやすい時期は二つある

その時期は有効分ケツ期でこの時

期に欠乏すると、穗数が減少して

減収する。第一の時期は幼穂形成

期と穗孕期の時期で、この時期に

欠乏すると一穂の枝梗数が減

一穂の枝梗数及穗数が減少して減

少して減収する。

したがつて穗肥に加里を

施用すると、効果が大きい、加里

は窒素と違つて過剰に吸収しても

は窒素を多く

与えた時に加里を必要以上に多量

に施すと、イモチに罹りやすくな

る。加里は窒素過多の害を少くす

るという考え方である。

詳細は農業改良普及員、農政技術員にお尋ね下さい。

肥料：加里はアミノ酸から蛋白質を合成するのに必要であり、

白質を合成するのに必要であり、

又加里は糖から澱粉を合成するの

にも必要である。加里が不足する

と炭素同化作用が減退し、逆に呼

吸作用が増大するので炭水化物の

生産が少なく、乾物の生産が少な

くなる倒伏に関係あるセン維系の

生産も少なくなる。加里は炭素同化作用を促進するので、本年のよ

うよ日照不足の時に肥効が大きい

加里は蛋白質の合成に必要である

から加里の吸収量と窒素の吸収量

の割合はほぼ同じであることが望

ましい。

加里が不足すると葉色は濃くなり

分ケツ数はあまり減少しないが草

丈が低くなる、出穂はかえつて早

くなり下葉から早く枯れ上がり